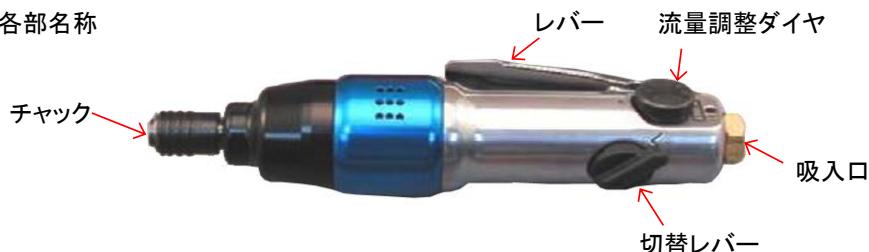


このたびは当商品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
使用に際しましては取扱説明書をよくお読みいただきますようお願いいたします。

■仕様

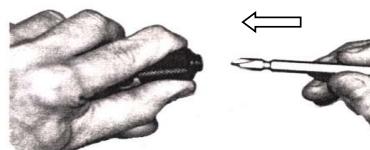
- 本体全長…188mm
- エアー消費量…198L/min
- 最大トルク…34N·m
- 能力(ボルト径)…M4.5,6
- 重量…850g
- 使用エアホース内径…10mm
- 騒音値…100db(A) ISO 15744
- 無負荷回転数…10,000rpm
- 使用圧力…0.62MPa
- エアー吸入口…1/4"Rc (プラグ付き)
- 使用コンプレッサー…1.2kw
- シャンクサイズ…6.35mm
- インパクト、正逆回転付
- 三軸合成値…7.4m/s² ISO-28927-2

■各部名称

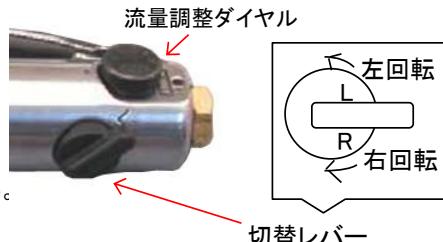


■使用方法

- ・ドライバービットの取り付け
チャックのローレットの所を持ち ⇛ の方向に押し、ドライバービットを差し込みローレットを放すと固定します。(作業する前にドライバービットが抜けない事を確認して下さい。)



- ・流量調整
流量調整ダイヤルを回して流量を調整することができます。



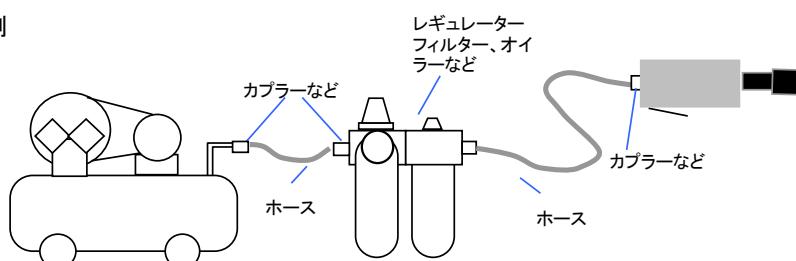
◆騒音について

- ・ご使用中、周囲に迷惑をかけないように、各都道府県等で定める騒音規制値以下で使用して下さい。
必要に応じて、防音壁等で遮音処置を取って下さい。

◆操作方法

- ・圧力…0.62MPa前後で使用して下さい。高すぎると能力はアップしますが、寿命を縮めます。
低すぎると能力が低下します。
- ・エアー…コンプレッサー、配管内のごみや水分を除去する為、フィルター又はドレン等を取り付けて下さい。
ごみが内部に入ると故障の原因となり、水分が入ると錆の原因となります。
- ・給油…ご使用前に吸入口より5~6滴スピンドル油(ISO VG 10)を必ず給油して下さい。
・給油を怠ると摩擦が増大し、故障の原因となります。
・使用後も保管の際は給油して下さい。(防錆の為)

◆配管例



●メンテナンス

- ・工具を接続する前にISO VG10くらいのスピンドルオイルを接続口から5~6滴たらしてください。
- ・粘度の高いオイルを差しますと、機能が十分発揮されなくなります。
もし、誤って粘度の高いオイルを差した時は、洗い流して適正オイルを差してください。
- ・3~4時間の作業ごとにオイルを差すと、工具が長持ちします。

●保管

- ・使用後は水分や汚れを拭き取り乾燥させて、オイルをさしてください。
- ・使用しないときはコンプレッサーホースから工具を外してください。
- ・保管に際しては湿気のある所は避けてください。湿気があると工具内部にサビが発生します。



安全上の注意

事故、けがを未然に防ぐため、ご使用前に必ずお読み頂き、ご理解の上、注意事項を厳守してください。
説明された用途以外の使用は厳禁です。

- ・作業をする前にインパクトソケットなどが確実に差込角に装着している事を確認してください。
- ・トルクが大きい為、スイッチを入れる前にボルトにはめてください。
- ・適正な圧力と適正な使用スピードが最良の作業効率をもたらします。
コンプレッサーの適性ゲージ圧力は0.62MPaです。
- ・エアーツールとコンプレッサーの間のホースは内径10mmをご使用ください。
エアーツールとコンプレッサーの間にはフィルターとオイラーを設置してください。
- ・使用前にホースをコンプレッサーの圧縮空気で掃除しますと、湿気とホコリが除去できます。
ホースを延長して使用するほど（7.5m以上）、ラインの圧力も相応してあげなければなりません。
- ・使用に際しては良好な状態でソケットやアダプターを使用してください。
- ・作業時は必ず保護めがね、イヤーマフ、防塵マスク、手袋を着用してください。
- ・作業現場は必ず換気をよくしてください。
- ・動力源が故障した場合はエアーツールをはずしてください。
- ・絶縁されてない為、電源に接触しないように注意して作業してください。
- ・爆発性雰囲気のある環境下では、エアーツールは使用しないでください。
- ・また圧力のかかったホースには注意してください。
- ・作業対象物は必ず適正な工具に固定してください。
- ・過度のエアー圧力をツールにかけたり、速いスピードでの空回しは工具の損傷の原因になります。
- ・作業場の照明は充分明るくしてください。
- ・作業場には子供を近づけないでください。
- ・無理な使い方はしないでください。作業にあつたエアーツールを使用してください。
工具の能力と作業にあつた速度、トルクを選んでください。
- ・作業時は作業に適した服装をしてください。
だぶついた作業服、ネクタイ、ネックレスなどの装身具類は、回転部に巻き込まれます。
長い髪も危険ですので帽子をかぶるようにしてください。
- ・手袋を使用するときは、巻き込まれないような品で、すべらない手袋を着用してください。
- ・加工物をしっかりと固定し、両手で工具を使用してください。手で加工物を保持すると危険です。
- ・作業工具は注意深く手入れをしてください。
エアーホース、接続部、スイッチなどは損傷していないか、その他定期的に点検してください。
- ・握り部、スイッチは常に乾かし、きれいな状態を保ってください。
- ・次の場合はスイッチを切りエアーホースを外してください。
 - ① 工具の取り付け、交換
 - ② 作業終了時
 - ③ 異常を感じたとき
- ・エアーツールを運ぶときは、エアーホースを外してください。不用意にスイッチが入ることがあり、危険です。
- ・エアーツールを使用するときは、取り扱い方法、作業方法、周りの状態を把握して、慎重に作業してください。
- ・作業前には、可動部の位置、取り付け状態、その他運転に影響を及ぼす全ての箇所に、異常、損傷がないかを確認してください。
- ・改造はしないでください。本機の寿命を著しく損ねる場合があります。また、ご使用者がケガをする場合、作業行程に支障を来たす場合があります。
- ・振動工具の三軸合成値について
仕様欄に数値を記載しています。
日振動ばく露量A（8）は、厚生労働省の下記サイトで求めることができます。
<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisaku/seisaku-0000120000000000000.html>